

環境学習

(私立とさ自由学校)

令和7年11月19日(水)に、学校法人日吉学園とさ自由学校で
ごみ勉強会が実施されました。

午前中は低学年の子どもたちが八天大橋の河原でごみ調査を行
いました。一見きれいに見えた河原でしたが、調査してみるとた
くさんのごみが見つかりました。子どもたちは「食べ物のご
み!」「これ見つけたよ!」と、いろいろなごみを見つけながら
興味深そうに取り組んでいました。

調査を終えた子どもたちからは、「川にいろんなごみがあるこ
とがわかって勉強になった」「見つけるのは難しかったけど、だ
んだん楽しくなってきた」といった声も聞かれました。

午後の高学年の授業では、午前中に調査した八天大橋の清掃前
の写真を見ながら、どんなごみがあったのかをみんなで共有しま
した。アウトドアチェアやお弁当の空き箱、BBQの後のごみが袋
に入れられたまま放置されている様子を聞くと、子どもたちから
は「えっ!」「びっくり!」と驚きの声が上がりました。ごみ問
題の解決のひとつは、落ちているごみをみんなで拾うこと。でも、
大きいごみもあれば、小さくて見つけにくいごみもあります。特
に、5mm以下のプラスチックごみを「マイクロプラスチック」と
呼びます。このマイクロプラスチックはとても小さいので回収が
難しく、魚が食べてしまったり、私たちが空気中の微小なプラス
チックを吸い込んでしまうかもしれないという話に、みんな真剣
に聞き入っていました。マイクロプラスチックの問題を体験する
ために、先生が事前に集めたごみの中から、土や葉っぱに混ざっ
た小さなプラスチックを探す調査も行いました。最初は5mm以上
の大きなごみをどんどん見つけていた子どもたちも、マイクロプ
ラスチックと葉っぱの欠片などとの区別に苦戦しながらも、一生
懸命取り組んでいました。

何気ない気持ちでごみを捨てると、ごみとして地球にずっと
残ってしまうということを自分の目や手で確認し、ごみはきちん
と決まりを守って捨てようと思えた勉強会となりました。なお、
このごみ勉強会は高知食糧株式会社の「高知県清流保全パート
ナーズ協定」事業の寄付金により実施しました。

仁淀川清流保全推進協議会では、仁淀川流域の学校での環境学
習を支援するために「調べ学習ハンドブック」を作成していま
す!実施を希望する場合には高知県自然共生課までご連絡くださ
い!(TEL:088-821-4863 MAIL:seiryu@ken.pref.kochi.lg.jp)

▼ハンドブック詳細

https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2015081400067/file_contents/file_2023775135937_1.pdf

